

青山 AOYAMA

題字/浄土門主総本山知恩院門跡
第八十六世中村康隆猊下



新本堂着工に寄せて

梅窓院二十五世
中島真成

檀信徒の皆さん、お元気で
お過ごしでしょうか。

はやいもので、この『青山』
も五号を数え、二年目を迎え
ました。皆様には、投句や梅
窓院を囲む人々などで紙面作
りにもご協力をいただいてお
ります。紙面からではありま
すが、心より御礼申し上げます。
ありがとうございます。

さて、本堂の復興に伴う工
事がいよいよ始まりました。
新本堂の竣工まで、およそ二
年にわたり御迷惑をおかけい
たしますが、なにとぞ御理解
いただきたく存じます。工事
にともなうお墓参りや、各種
行事に関しては本号で詳しく
お伝えいたします。

竣工までの仮本堂になる建
物は、山門を入ると正面に観
音堂がありますが、その観音
堂に向かって左、公道をはさ
んだところの四階建てのビル
です。写真はその仮本堂の屋
上から現在の境内を背景に撮
ったものです。なお、新本堂
竣工後は前号インタビュー記
事で御紹介した設計家の
さんのオフィスになる予定
となっております。

また、今回の本堂復興は、
檀信徒の皆様へ寄付などをい
ただかない方法をとらせてい
ただきました。これに対して
は逆に協力したいという、有
難いお言葉も頂戴しておりま
す。お寺は皆様に支えられて
こそのも、と充分認識して
おります。新本堂の荘厳や仏
具などでは、ご協力をお願い
もさせて頂いたたくかと存じま
す。檀信徒の皆さんあつての
お寺であることは今後も変わ
りませんので、どうぞよろし
くお願いいたします。

心が和むひとときを。



境内散策

水琴窟 (すいきんくつ)

墓地の中央道を進み、青山
家歴代の墓のすぐ傍に、水琴
窟が設けられているのをご存
知でしたでしょうか。

江戸時代の庭師によって発
明されたという水琴窟は、か
すかな鈴の音色を響かせ、私
たちの心を
和ませてく
れます。

夏に聞く

と一層涼や
かな感じが
し、多くの
人に親しま
れています。



◆行事紹介◆

孟蘭盆会大法要

七月十三日(金)

法要 十時半

仮本堂
回向用紙をご持参下さい。

施餓鬼会大法要

七月二十一日(土)

法要 十五時半

仮本堂



平成十三年度 団体参拝
法然上人二十五霊場巡拝
伊勢・京都を訪ねる旅
十月九日(火)～十一日(木)

法然上人ゆかりの寺院を訪
ねる旅もいよいよ最終回。行
程には伊勢神宮参拝や、京都
散策の時間もあり、お楽しみ
が満載。ぜひご参加下さい。

※お問い合わせ 檀信徒部

〇三―三四〇四―八四四七

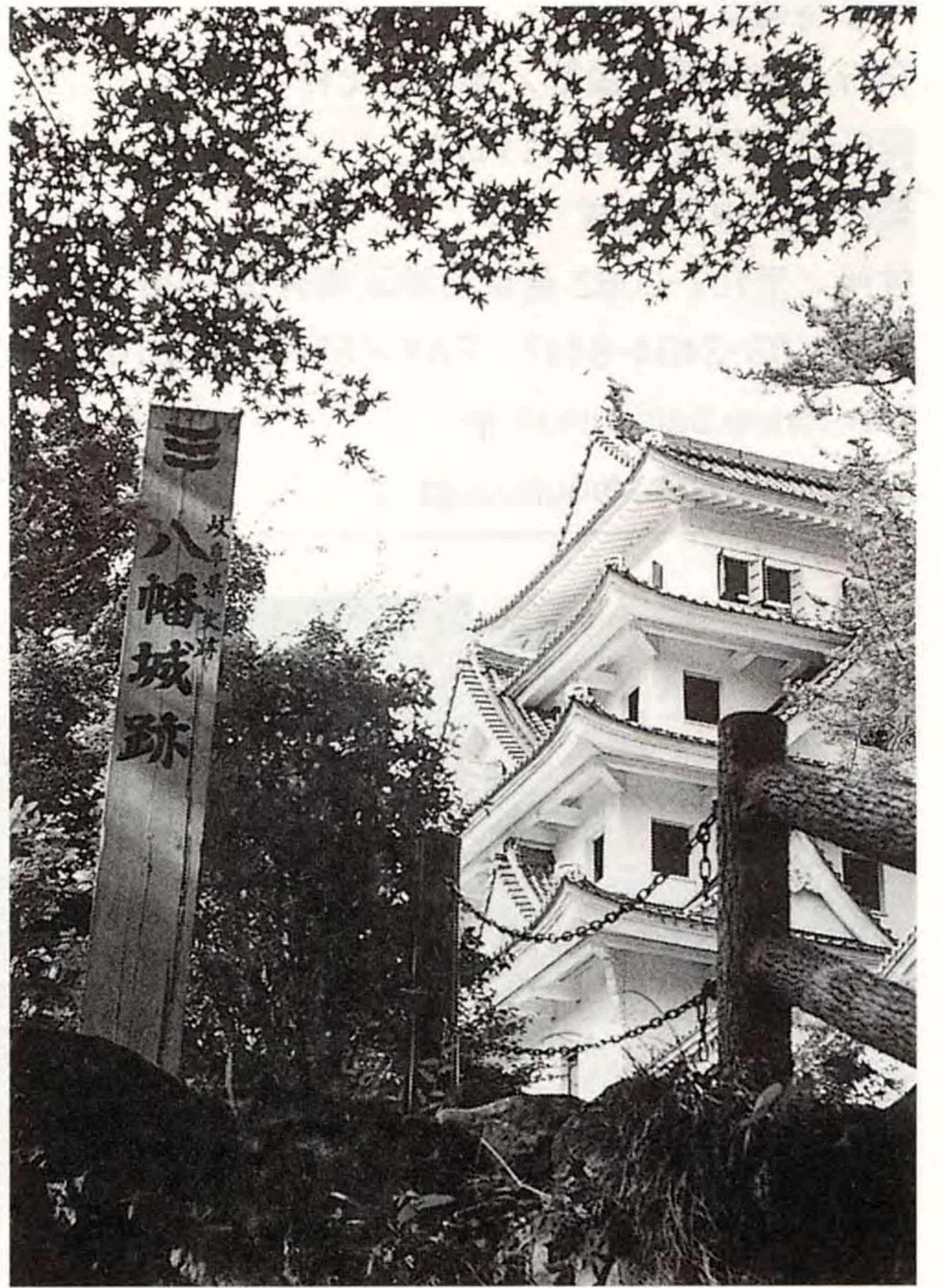
〔詳細は七面へ〕



梅窓院通信

『七夕の話』～中国の神話より～

彦星と織女はとても仲の良い夫婦でした。それが仲
が良すぎるあまり、彦星は田畑の耕作をさぼり、織女
は機織を怠るようになってしまいました。怒った天の
神さまは、二人を引き離してしまいます。しかし嘆き
悲しむ二人を見て、年に一度七月七日の夜だけ、逢っ
てもいいことになったということです。



山上にある岐阜県史跡の八幡城跡。

青山梅窓院史

《郡上八幡物語り》

その四

梅窓院の大檀越、青山という地名にもなった青山家。徳川の歴代將軍に仕え、幕府を支えた青山家は、江戸時代を代表する大名です。

その青山家は、本家が現兵庫県の篠山で、そして分家は岐阜県の郡上で、それぞれ明治維新を迎えます。梅窓院と縁の深い青山幸成は、家康、秀忠に仕えた青山忠成の四男で、郡上青山家の流れになります。

さて、徳川の三百年近い安定幕府の担い手といえは、大名です。青山家は幕府のお目

付役的な譜代大名で、交通の要衝、問題のおきた藩などを統治することとなり、引越（転封）が多くありました。

郡上八幡で明治維新を迎えた青山家も、それまでにあちらこちらに移りました。当初は江戸近くで、現在の千葉県や群馬県を基盤にしていたが、それから現静岡県の遠江掛川、現兵庫県の摂津尼崎、現長野県の信濃飯山、現京都府の丹後宮津と移って、現岐阜県の美濃郡上に落ち着いたのでした。今回はこの郡上八幡に目を向けてみましょう。

踊りと水の郷、郡上八幡

郡上八幡は現在の岐阜県郡上郡にあり、昔日の面影を漂わせる情緒あふれる城下町です。町の真ん中には水量豊かな長良川の支流が流れ、散策コースには鯉の泳ぐ水路が、そして宗祇水と呼ばれる観光名所の水汲み場があります。そして何より有名なのが、お盆に徹夜で踊る盆踊り、郡上おどりです。この時は全国から観光客が集まって、それぞれ道にあふればかりの人々が熱狂的に踊りあかします。

この風光明媚な郡上に青山家が転封してきたのには大きな理由があります。前の藩主である金森氏が一揆により改易、つまり領地没収となったからです。

金森氏改易で青山家郡上へ

金森氏治める郡上で起きた一揆は宝暦騒動と呼ばれるもので、通称、郡上一揆といえます。この郡上一揆は映画化され、昨年从今年にかけて上映されました。

水田の検見取法に反対する農民が「百姓皆々一味同心」という連判状を作り、江戸での直訴におよびました。その結果、農民の願いが叶い、藩主の金森氏は改易されました。これは当時の一揆の中でも特筆すべき成功例でした。

この金森氏の改易を受けて、青山家が郡上に入ったのです。宝暦九年のことで、一七五八年でした。時の青山家当主、青山幸道は、郡上入部にあたって出迎える者に三百文づつ与えましたが、それに感激し披露した地踊りの姿が「三百」といわれ、今も残っています。

幕末と郡上の凌霜隊

さて、幕末の郡上で忘れてはならないのが、凌霜隊です。幕府から朝廷へと歴史が移る中で、郡上藩としては朝廷側につき中、江戸藩邸では幕府が勝つことも想定し、凌霜隊を組織し、幕府応援のため会津に向かわせたのです。この戦は朝廷側の勝利となり、凌霜隊は投獄されます。後に釈放されますが、この苦肉の策

ともいえる凌霜隊の記念碑は城の山腹に今も残っています。

ところで、郡上青山家の藩主にはみんな「幸」という字が入っています。「よし」と読むのですが、十二代將軍徳川家慶が、「いえよし」と読む事から、同じ「よし」の読み方を避け、「ゆき」と読むようになりしました。ですから、郡上青山家の初代の幸成は「よしなり」で、郡上県最初の知事となった幸宣は「ゆきのぶ」です。

幕末を郡上で迎えた青山家の資料や遺品は今も郡上八幡城に残されていますし、その天守閣に上って見渡す郡上の町並は一見の価値があります。郡上踊りの見物に行かれる機会がありましたら、ぜひ上ってみてはいかがでしょうか。

(ルポライター真山剛)

生活用水として利用される宗祇水。



全国的に有名な郡上おどり。

梅窓院の昔の話をご存知の方、伝え聞いていらっしゃる方、往時の資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、どんな小さなことでも結構ですから、ご一報いただければ幸いです。

お盆とお施餓鬼

精霊棚の飾付け

お盆の間、仏壇の前にご先祖さまを迎える為に設けます。

小机を用意し真菰(まこも)のごさを敷きます。(テーブルクロスで代用も可)

その机に御位牌を中心に、過去帳・香炉・灯明などを仏壇から出して並べます。

季節の花を飾り、果物・野菜・菓子、または故人の好物などを供えます。

ご先祖さまが行き来する乗り物として、キュウリの馬、ナスの牛を供えます。(野菜に割り箸で足を付けたもの)

ハスの葉(お皿でも可)の上に、ナスとキュウリを賽の目に切って、洗い米とを混ぜたものを供えます。これは「水の子」と呼ばれ、ご先祖さまだけでなく、全ての仏を供養するという意味を持ちます。

小鉢にお水を入れて供えます。この水は「闕伽(あか)」と呼ばれ、ミソハギ(櫛でも可)を束ねたものと一緒に置いて、供物を清める為に使います。



—お盆期間—
七月十三日・十四日・十五日

梅窓院 孟蘭盆会法要
七月十三日(金)
法要 午前十時半〜仮本堂

◆回向用紙をご持参下さい。
法要にて回向致します。
(書き方は別紙参照)

お盆の時期は、七月から九月までと、地域によって異なり、お盆の迎え方や過ごし方も風習・習慣によって本当に様々です。

しかし時期や様式に違いはあっても、ご先祖さまを大切に、感謝する気持ちは共通するものと思います。

ここではお盆を迎えるにあたって、ご家庭でも無理なく設けられる「精霊棚」の飾り方をご紹介します。



こちらは一例です。この通りでなければなりません。できる範囲で気持ちよく、ご先祖さまをお迎えしましょう。

梅窓院 大施餓鬼会法要

七月二十一日(土)

法要 午後三時半〜仮本堂

延命長寿をご祈願しましょう。

◆仮本堂の為、お齋を出すことができません。お持ち帰り用のお弁当をご用意させていただきます。ご了承ください。

施餓鬼塔婆申込方法

同封のはがきを使い六月三十日必着でお申込下さい。
塔婆回向料は一本一万円とさせていただきます。

お支払い方法

※参加人数をご記入下さい。
同封の払込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付まで直接お持ち下さい。
※振込用紙は郵便局専用です。銀行ではご利用できません。

—墓参時のお願い—

墓地にガラスのコップを置く事はご遠慮下さい。倒れて割れると、お参りの際に大変危険です。

仮本堂使用にあたってのお願い



本堂復興事業に伴い、工事期間中使用する仮本堂「BY-CUBE」(写真右上)が完成し、四月二日には竣工式が執り行なわれました。

本年度六月一日より、新本堂完成予定である平成十五年秋までの約二年間、お檀家さまの回忌法要・葬儀をはじめとした、全ての行事がこちらで行われる事になります。

皆さまのご理解ご協力を、お願い申し上げます。ご不明な点は当院までお気軽にお問い合わせ下さい。

◆お車での来寺は

ご遠慮下さい

仮本堂には駐車スペースがありません。工事期間中、境内には入れませんので、駐車スペースとしての利用もできなくなります。法要やお墓参りなどで来寺の際は、電車・バスなど公共の交通機関をご利用下さい。

やむを得ずお車でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご案内致します。ご了承下さい。

◆回忌法要について

通常どおり、当院受付にて予約を承ります。

お檀家様の控室は二階となります。仮本堂ではスペースの都合上、各家に個室をご用意出来ない為、控室は法要開始三十分前からのご利用となります。また、二十名以上でご利用の方は事前にご相談下さい。

法要後院内でのお食事は受付ておりません。近隣のお料理屋をご案内します。

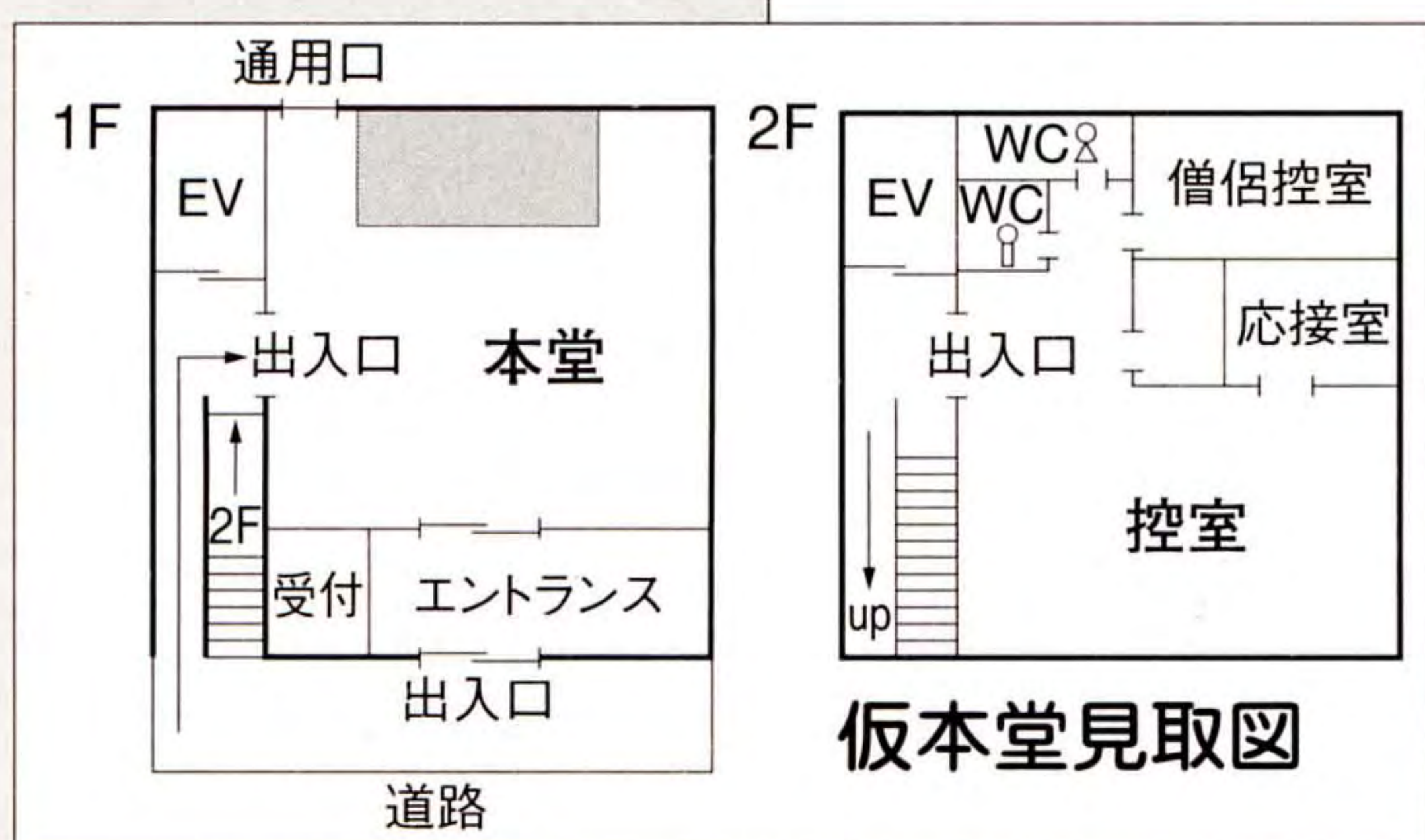
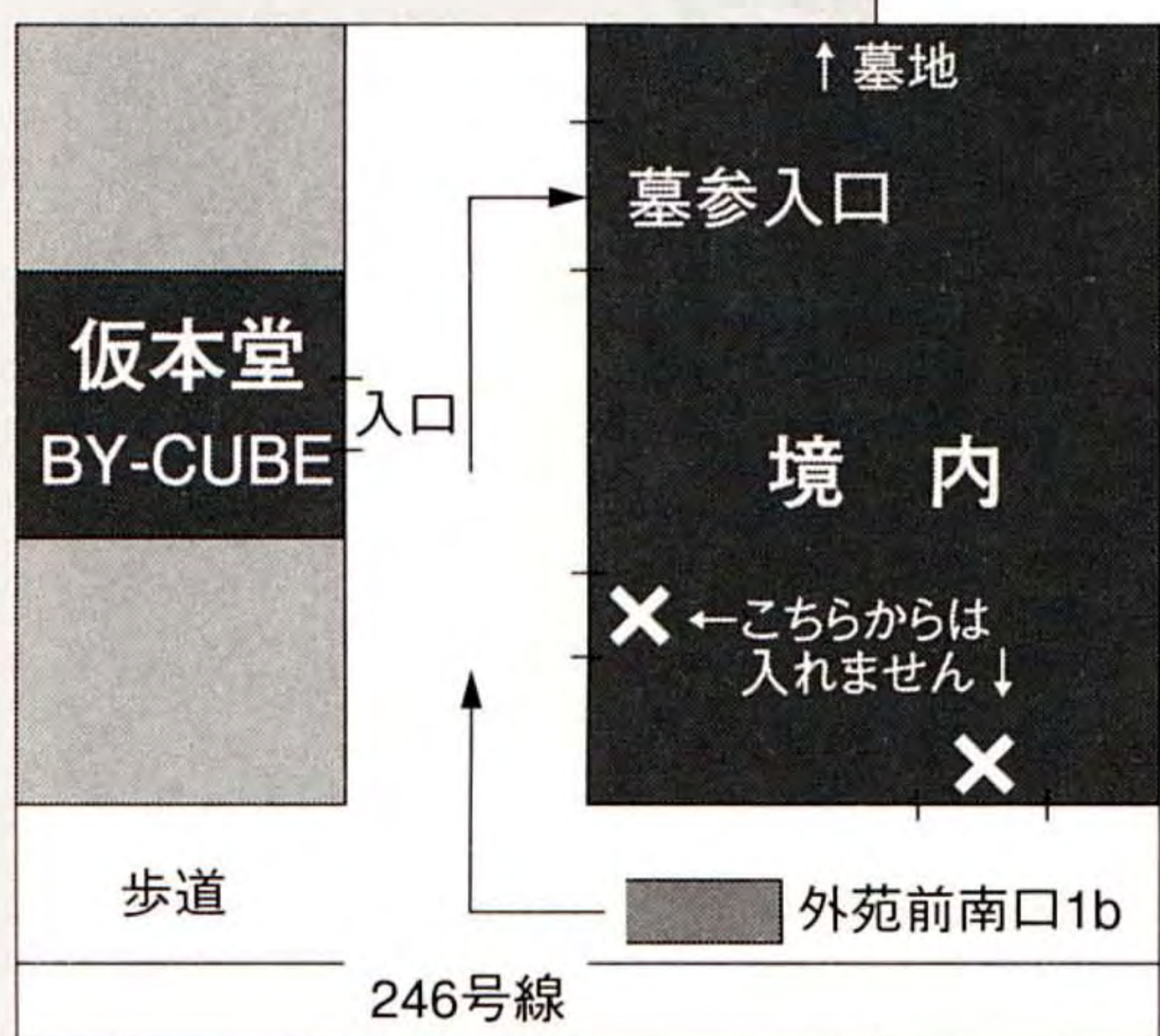
◆葬儀について

もしもの時は、葬儀社を決める前に必ず当院までご一報ください。

仮本堂での葬儀は、当院指定の葬儀社「青山典範」によるお檀家様の葬儀に限り、まず当院にご一報下さい。また、葬儀後のお食事も、当院までご相談下さい。

お檀家様以外の斎場利用はお断りしております。

青山典範
〇三―三四〇一―六三〇五



仮本堂1階受付にお線香が用意されています。

創業精神を語る

さん。

キングジム会長

さん (79才)

創業時のヒット商品
『切り抜き式人名簿』。



今回はファイルなどで有名なキングジムの会長で、梅窓院の檀家のさんにご登場いただきました。お墓は青山墓地にあります。が、奥さまが亡くなられた時に、ご一緒に生前戒名をつけられたさんです。

机や本箱のまわりを見ると、四角いマークのキングジムの文房具がありませんか？ あら、好きな文字を打ってシールにできるテプラがあるかもしれません。身の回りについて役に立つ文房具。これを開発し続けて、七十四年の歴史を持つのがキングジムです。そして、この日本有数の文具メーカーの会長として、

また日本ファイルバインダー協会会長として活躍されていらっしゃるの、さんです。

さんは大正十年、東京下谷でブリキ細工用の鋏を作る家の四男として生まれ、東京商科大学（現一ツ橋大学）を卒業、住友銀行に入社されたエリートです。しかし、戦争で召集され中国へ。南京で終戦を迎え昭和二十一年三月に帰国、終戦後の混乱の中、家業を手伝うために銀行を退社されました。

ところが、その直後にさらに大きな転換点を迎えることになりました。当時は名鑑堂といったキングジムの創業社長

長 氏の

さんとの縁談でした。しかも婿入りの話です。さんは当時をこう振り返ります。「実家の跡継ぎとしては長兄がいましたし、なによりご夫妻そして妻となったさんとお会いし、その人柄にひかれ迷わず決心しました。」

義父となったさんは和歌山県出身。大正十三年には東京の深川木場で材木商を営み始めました。しかし業界の体質に合わず、「何か人がまねできないものを」と事務用品業界に転身しました。そこで、わざわざ書く必要のない人名簿『切り抜き式人名簿』を発明し特許をとったのです。さて、家に入った

さんは、義父さんから大いに薫陶を受けました。以来、商業道徳を守り、人さまのために独創性のある良いものを作るという創業精神が三さんの人生の指針になりました。

その義父は昭和五十年に他界、実子である長男が後を継ぎましたが、七年後に若くしてこの世を去ってしまいます。そこで急遽、さんが三代目の社長に就任することになりました。

当時のことを平成九年に発行した『浪漫と算盤』にさんはこう記しています。「先年やむを得ずして社長になった際、私の能力不足を補って貰おうとの一声が、『経営者は経営者という名の社員であり、社員は社員という名の経営者である』でした。(略) こうして三代目となった

さんは、息子のさんが四代目として社長に就任する平成四年までに、株式の店頭公開、物流センターや工場設立と財務畑出身としての能力を大いに発揮されたのです。

昨年、さんは代表取締役から取締役会長になりました。代表の二文字がとれて肩の荷が降りた。さんは、今回の梅窓院の本堂再建にひとつの思いがあると話してくれました。「わたしは養子に入ってから、

二つの思いで生きてきました。ひとつは会社を支えていくこと。ひとつは家を守っていくことです。

家を守るには、特に先祖を守るには、なんとと言っても菩提寺が頼りです。その菩提寺梅窓院さんが本堂を再建されること。総代でもない私が言うのはおこがましいのですが、お寺は尊さをもって仏教文化を伝えるところ、現代の世相に合わせた再建にもこうしたことを忘れずにいていただきたいと思います。

そして、先々代の創業ポリシーを大切に続けてきた一企業人として付け加えれば、梅窓院は格式ある名門、商家でいえば老舗ですが、名門や老舗の存続には次の三つのことが必要だと言われています。『変えてはならないもの、変えても良いもの、変えなくてはならないもの』の三つです。名門の梅窓院さんの新たな第一歩にあたり、老婆心ながら一言申し上げさせていただきます。

業界トップを走って来たキングジム。そのリーダーであり続けたさんは、矍鑠としてこうお話しされました。持つべきこだわりを大切にしていこう、それは業界や業態を越えた真理に違いありません。さん、ありがとうございました。

新商品を説明する

さん。

KING JIM
www.kingjim.co.jp
No.1
ハイブ式ファイル実売第1位
日本のスタンダードファイル
キングファイル

新聞でおなじみのキングファイルの広告。

法然上人二十五霊場 巡拝

〈梅窓院 団体参拝〉

当院での法然上人二十五霊場巡りの旅も回数を重ね、未訪問の寺院もあとわずかとなり、本年度で最終回を迎える事となりました。最終回に相応しく見所をおさえ、どなたでも安心して参加していただける行程となっております。

法然上人二十五霊場巡拝
伊勢・京都を訪ねる旅 十月九日(火)〜十一日(木)

一日目

初日は伊勢へ向かいます。欣浄寺を参拝した後、伊勢神宮を訪ねます。内宮前には、みやげもの屋が連なる「おはらい町」が広がり、散策も楽しめます。昼食は名物でこね寿司。宿泊は鳥羽。波打ち際の野天風呂で疲れを癒し、夕飯には新鮮な海産物で舌鼓を…。



豊富な海の幸で大満足。

伊勢神宮(内宮)。



二日目

バスで京都へ向かいます。銀閣寺を参拝し、昼食は京都の素材をふんだんに盛り込んだ「手をけ弁当」をお楽しみ下さい。午後は勝林院を参拝。すぐ隣の三千院も訪ね、静かな大原を思い切り満喫。夕方からは市内でフリータイムとなります。

大原三千院。



三日目

長岡京にある光明寺を参拝します。西山総本山の由緒ある寺院とあって風情があり、とても心が安らぐ空間が広がっています。ぜひとも訪ねて頂きたいお寺です。

その後、二十五霊場巡拝の閉め括りとして総本山知恩院を参拝致します。昼食は嵯峨名物である湯葉と豆腐料理を頂きます。ここでのフリータイムでは渡月橋を散策するなど、京都嵐山を堪能して頂けます。

嵐山渡月橋。



参拝寺院案内

第十二番 伊勢

欣浄寺(ごんじょうじ)

承安五年(一一七五)法然上人が四十三歳で浄土宗を開いた年、伊勢神宮に参籠された時の遺跡。上人にまつわる謂れが多く残っている。



第十六番 山城栗生

光明寺(こうみょうじ)

法然上人の遺骸を運び茶毘に付した場所で、現在は西山浄土宗の総本山になっている。



第二十一番 京都大原

勝林院(しょうりんいん)

文治二年(一一八六)顕真法印(けんしんほういん)の発起により、南都北嶺の名僧学僧三百余人を相手に論議をしたという「大原門答」が行われた場所として有名。



第二十五番 京都

総本山 知恩院(ちおんいん)

法然上人によって開創された念仏の根本道場。上人が往生された後、弟子の勢観房源知上人が御廟を建立し、念仏の勧進をした。現在、浄土念仏信仰の拠点として檀信徒の心の拠り所となっている。



先日、下見と取材を兼ねて伊勢・京都に行ってきました。今回はちょっと遠くて足を伸ばすのをためらっていた、大原や長岡京方面を訪ねる良い機会となりました。おすすめは光明寺。木々に囲まれた広大な境内はとても静かで、自然と心も落ち着きます。忙しい毎日をちょっと離れて、ほっと一息つける場所でのんびり過ごすのも必要な事ですね。ぜひ皆様のご参加、お待ちしております。

◇お申し込み◇
同封の申込み用紙に必要事項を記入し、郵送・FAXまたは直接当院受付までお持ち下さい。

◇お問い合わせ◇

〇三―三四〇四―八四四七

檀信徒部まで

広東料理

富徳

青山で本格広東料理を楽しめるお店といえば、TVでもおなじみ周富徳氏がオーナーを務める「富徳」です。

豊富なメニューの中でも周さんおススメは、「海老マヨネーズ」。素材からこだわり、出来たてアツアツをサービステくれるので本当に美味。
一〇〇〇円からの平日ランチはボリュウムもあり、グループで行けば品数多く楽しめ



うちは美味しいよみんないらっしやい!

食は命なり

夏バテを防止する「梅みそ」

武鈴子 食養研究家

第二回

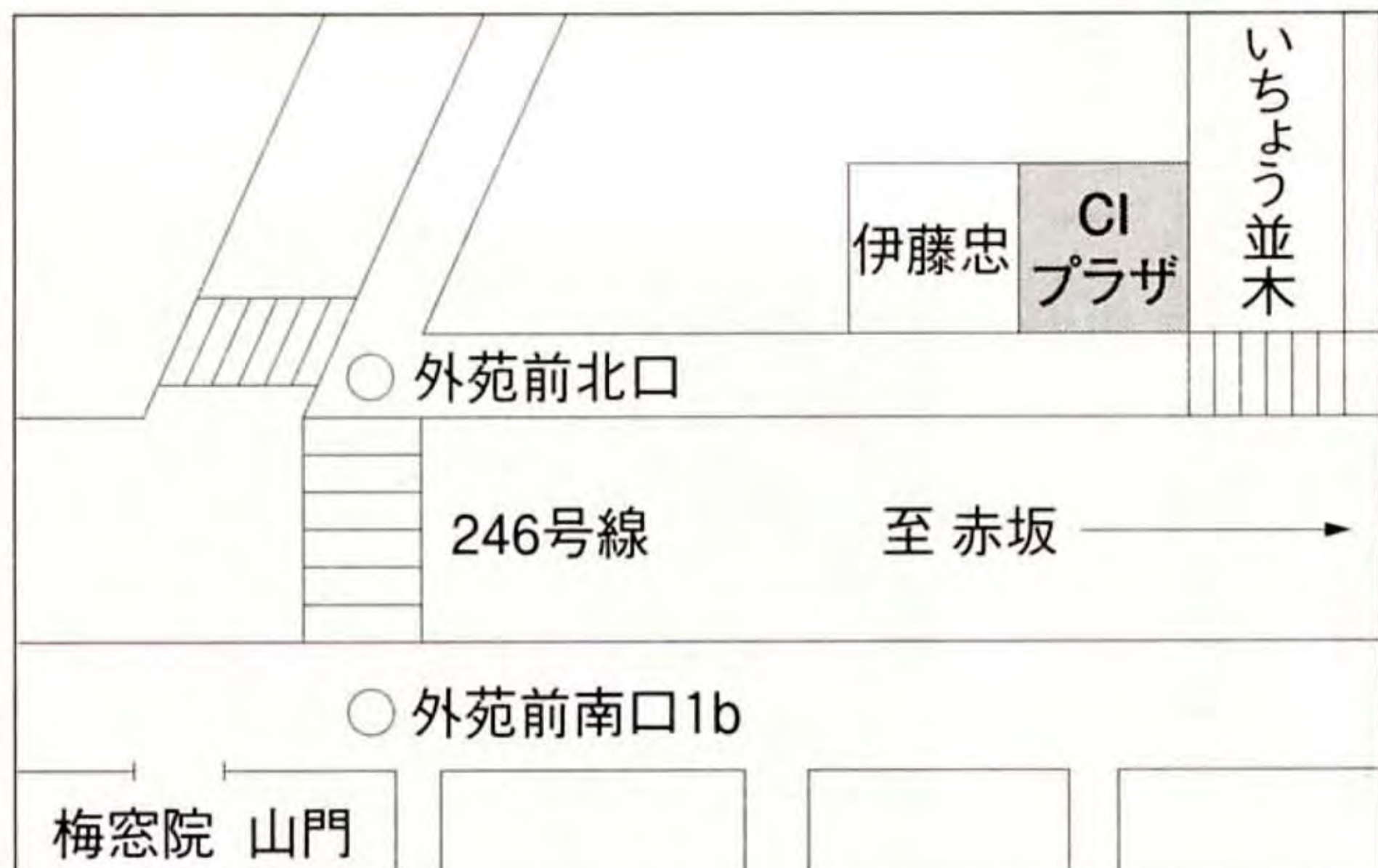
元気に長寿をまっとうされた、きんさんぎんさんの好物は、刺身と煮魚、それに必ず梅干しを食べていたといいます。四方を海に囲まれた風土に生きる日本人は、昔から海藻や魚介類でカルシウムなどのミネラルを補給し、ご飯に梅干しを添えて健康を保ってきました。

昔の人は「梅はその日の難のがれ」といって、朝、梅干しを食べるとその日は災難をまぬがれる、と信じて必ず朝のお茶受けや、おにぎり、お弁当に毎朝欠かさず梅干しを食べてきました。梅干しは肝臓の働きを助け、強力な殺菌作用で食中毒を防ぎ、疲労物質である乳酸などを中和し、若返りのホルモンといわれるパロチンの分泌を促して、老化を防いでくれます。

日本の夏は暑さに加えて湿度が高く、だるくなったり、疲れやすくなります。そこで夏バテ防止に、簡単便利な「梅みそ」の作り方を紹介します。

材料は、青梅1キロ、みそ1キロ、氷砂糖1キロ、広口のビン（梅酒などのビン）を用意します。青梅はヘタをとって水洗いし、水切りしておきます。ビンにみそ・青梅・氷砂糖の順に入れていきます。最初の1週間から10日ぐらいはビンを上下にゆすって、混ざりやすくしてあげるとよいでしょう。2、3か月後から食べられます。この梅みそはあえものをはじめ、どんな料理にもあいますので作っておかれるとたいへん便利です。

TEL 03-3497-3111
港区北青山2-3-1 CIプラザ
(梅窓院より徒歩5分)
11時~14時 ランチタイム
14時~17時 飲茶タイム
17時~22時 ディナータイム
(日曜のみ9時半まで)
年中無休



てかなりのお得。土日の特別ランチもうれしい限りです。最大一四〇名まで入る店内はゆったり広々。人数に応じた個室が用意できるので、大人数での会食、法要後のお齋きにも最適です。ぜひお問い合わせ下さい。
◇『青山』読者サービスク◇
周富徳さんのご好意により『青山』をお持ちの五名様以上のグループに、富徳特製「手作り紹興老酒」を、サービスク致します。
※ディナータイムのみで、平成十三年七月末日まで有効。

青山俳壇

選者・「俳句朝日」顧問

大崎紀夫

蓮とこころてん

◎特選

白蓮の雨となりたる法会かな
(評) 法会の最中、白蓮の咲く池に雨が降って来たという景を詠んで、静かな美しい句となりました。

◎佳作

蓮の葉のかすかにゆらぐ日暮れかな
奥山の掛茶屋に食ぶ心天
求めきし藍の切り子のところ天
逝きし子と蓮の台に坐りたや

◎選者詠

家囲む塚は肥前の蓮の花

大崎紀夫

投句募集

次回のテーマは「向日葵」「茄子」もしくは当季雑詠とします。7月10日を締切、9月上旬発送の『秋彼岸号』にて発表させていただきます。応募は住所、氏名、年齢をお書き添え下さい。お待ちしております。

※ 〒107-0062 港区南青山2-26-38 梅窓院
「青山俳壇」投句募集係



春彼岸会大法要
彼岸寄席

三月二十日 祖師堂

今年も天候にも恵まれ、ご家族皆さままでお参りに来られる姿も目立ち、和やかな一日となりました。



第二一回
御忌詠唱奉納大会

四月四日 大本山増上寺

満開の桜の元、芝の増上寺にて御忌詠唱奉納大会が行なわれ、梅窓院詠唱会も参加しました。皆さんの息もぴったりで、普段のお稽古の成果が出た舞台となりました。

桜の下で笑顔も晴れやか。



第二回 文化講演会
講師 北野大先生

四月十九日 祖師堂

北野教授の専門分野である、現代の環境問題について、分かりやすく、時にはユーモアを交えてお話し頂き、大変有意義な講演会となりました。



熱弁をふるう北野先生。

仏教研究所だより
仏教講座
生活の中の仏教

二月二十四日 開講

講師 川添崇先生

江戸時代の庶民生活の中に取り込まれていった仏教の足跡についてお話し頂きました。「庚申信仰」や「崇り信仰」など日本人特有の思想に触れる、興味深い講義となりました。

往生要集を読む

講師 新井俊定先生

第四回 三月二十二日 開講

『往生要集』と文学作品
『往生要集』の影響を受けたと思われる『紫式部日記』や『源氏物語』などの文学作品を始め、現代の作品までを紹介。

念仏と法話の会

三月七日(水)

講師 宮城教区光明院住職

奥清隆上人

法話

「仏像の心とかたち」

本年度は講師に奥上人をお招きし、三回にわたってお話して頂く事になりました。

慶祝

